


ICT 学習支援教材コンテンツ活用実践事例

		学校名	青森県立青森聾	学校
授業について	教科領域名 (✓又は■で記入する。)	<input type="checkbox"/> 国語 <input type="checkbox"/> 社会 <input type="checkbox"/> 算数・数学 <input type="checkbox"/> 理科 <input checked="" type="checkbox"/> 外国語・外国語活動 <input type="checkbox"/> 生活 <input type="checkbox"/> 音楽 <input type="checkbox"/> 図画工作・美術 <input type="checkbox"/> 体育・保健体育 <input type="checkbox"/> 技術・家庭 / 職業・家庭 / 職業 <input type="checkbox"/> 特別の教科 道徳 <input type="checkbox"/> 総合的な学習(探究)の時間 <input type="checkbox"/> 日常生活の指導 <input type="checkbox"/> 生活単元学習 <input type="checkbox"/> 作業学習 <input type="checkbox"/> 遊びの指導 <input type="checkbox"/> 特別活動 <input type="checkbox"/> 自立活動 <input type="checkbox"/> その他()		
	単元(題材)名	Unit5 エミリーの家で (BLUE SKY English Course1 啓林館)		
	単元(題材)の目標	<ul style="list-style-type: none"> ・助動詞 can を用いて、できること・できないことについて表したり、質問や応答をしたりすることができる。 		
学習集団と実態	学部・学年・人数	中学	部	1 年 2 人
	本単元(題材)における学習集団の主な実態	※個別学習の場合は、個人の本単元(題材)における主な実態を端的に記入する。 <ul style="list-style-type: none"> ・新出の単語や文法を覚えたり正しく書いたりすることに難しさはあるが、小学部で学習した生活に身近な英単語は音で比較的良好に覚えており、授業では積極的に発言している。英語への苦手意識があるもののがんばろうという気持ちをもっており、丁寧さにはやや欠けるが授業での課題や宿題には意欲的に取り組んでいる。 ・ICT 機器を用いた教師の授業を受けたり、高等部生徒の発表を見たりする機会はあるが、学習活動において自分で機器を操作した経験はほとんどない。 		
ICT活用について	使用した支援機器・教材の名称	※使用した ICT 機器(入出力支援装置等)名を記入する。 iPad Apple Pencil		
	使用したアプリケーションの名称	※使用したアプリケーション名を記入する。 Keynote		アプリマーク 
	主な活用の用途 (✓又は■で記入する。)	(複数選択可能) <input type="checkbox"/> コミュニケーション支援 <input type="checkbox"/> 活動支援 (<input type="checkbox"/> 情報入手支援 <input type="checkbox"/> 機器操作支援 <input type="checkbox"/> 時間支援) <input checked="" type="checkbox"/> 学習支援 (<input checked="" type="checkbox"/> 教科学習支援 <input type="checkbox"/> 認知発達支援 <input type="checkbox"/> 社会生活支援)		
	ICT活用のねらい	<ul style="list-style-type: none"> ・英語を書いたり文を作ったりすることに対する生徒の苦手意識を軽減する。 ・生徒が自分で考えた表現と正しい表現を比較し、間違いに気づいたり、訂正したりする。 ・学習活動で使用するシートやカードを教師が作成する手間を軽減したり、整理・保管を容易にしたりする。 		
活用の状況と支援	※ICT 活用場面と行った支援について記入する。 <ul style="list-style-type: none"> ・iPad の Keynote を開き、例題に取り組む。iPad 上で空欄補充をして、英文を完成させる。答え合わせをし、間違えた箇所を訂正したり、分からない語の意味や読み方を書きこんだりした。 ・iPad の画面を見ながら、自分が作った文と訂正や書き加えたことをノートに写した。 【支援】 <ul style="list-style-type: none"> ・テレビ画面で活動内容と操作方法を示し、全体で確認してから iPad を渡した。 ・考える時間を確保しつつ、少しでも多くの問題に取り組めるように、時間を設定した。 			